

農産物の残留農薬検査結果(令和6年5月～6月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁*は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和6年5月～6月に医療局食品専門監視班及び各区福祉保健センターが収去した市内産農産物の検査結果を報告します。

市内産農産物については、5月にトマト5検体、キャベツ4検体、こまつな3検体、かぶの根及びだいこんの根各1検体の計14検体、6月にトマト7検体、ばれいしょ4検体、きゅうり3検体、キャベツ及びみずな(きょうな)各1検体の計16検体、合計で30検体の検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。トマト6検体、きゅうり及びみずな各1検体から延べ10項目の農薬が検出されましたが、基準値を超えたものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

*令和6年4月1日に、食品衛生基準行政は厚生労働省から消費者庁に移管されました。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果 (令和6年5月～6月)

農産物	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値	基準値
				(ppm)	(ppm)
かぶの根	1	0			
キャベツ	5	0			
きゅうり	3	1	アセタミプリド	0.10	2
こまつな	3	0			
だいこんの根	1	0			
トマト	12	6	アセタミプリド	0.01	2
			アゾキシストロビン	0.01	3
			ボスカリド	0.14	5
			アゾキシストロビン	0.02	3
			ジノテフラン	0.01	2
			ジノテフラン	0.04	2
			チアクロプリド	0.06	1
			フルフェノクスロン	0.03	0.5
ばれいしょ	4	0			
みずな(きょうな)	1	1	ジノテフラン	0.01	10

注) 中括弧 () は同一検体から検出されたもの

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
BHC (α, β, γ 及び δ の和)	0.005	○	—	○	—	—	エトキサゾール	0.01	○	○	○	○	○
DDT (DDE,DDD,DDTの和*)	0.005	○	○	○	○	○	エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	○	エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	○	エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	○	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	—	エンドリン	0.005	○	—	—	—	—
アセフェート	0.01	○	○	○	○	○	オキサミル	0.01	○	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	○	カルバリル	0.01	○	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	○	—	カルプロパミド	0.01	○	○	○	○	○
アルドリン及びディルドリン	0.005	○	—	○	○	—	クミルロン	0.01	○	○	○	○	○
イソキサチオン	0.01	—	○	○	○	○	クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	○	クロチアニジン	0.01	○	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	○	クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○	○

表 2(続き) 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	○	フェナリモル	0.01	○	○	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	○
クロルプロファム	0.01	○	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	○
クロロクソン	0.01	○	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○	○
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	○	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	○	○	○	○	○
ジノテフラン	0.01	○	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	フルジオキシニル	0.01	○	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○	○
ジメトエート	0.01	○	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○	○
シラフルオフェン	0.01	○	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	○	プロパホス	0.01	○	○	○	○	○
チアクロブリド	0.01	○	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
チアトキサム	0.01	○	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシ種を含む)	0.005	○	—	○	—	—
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	ベンコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○	○
トリチコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	○
トリフルラリン	0.01	○	—	○	—	—	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○	—
トリフロキシストロピン	0.01	○	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	○	マイクロタニル	0.01	○	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	○	メタミドホス	0.01	—	○	○	○	—
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	○	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○	○
ビリダベン	0.01	○	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○	○
ビリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	○	メトラクロール	0.01	○	○	○	○	○
ビリミカーブ	0.01	○	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○	○
ビリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○	○	リンデン(γ-BHC)	0.005	○	○	○	○	—
ビリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ルフエヌロン	0.01	○	○	○	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○	○
フィプロニル	0.002	○	○	○	○	○							

農産物の種類 A:きょうな、こまつな、トマト B:かぶの根、キャベツ C:ばれいしょ D:きゅうり E:だいこんの根
○:実施、—:実施せず

*DDTは*p,p'*-DDE、*p,p'*-DDD、*o,p'*-DDT及び*p,p'*-DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】